



# 謹んで新年の ごあいさつを 申し上げます

「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある  
健康文化都市」の実現に向けて

町長 宗宮 孝生

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、今年も町民の皆さんにとって、よい一年でありますように心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと記録的な豪雪・夏の猛暑、東横山の地すべり、日本一の総貯水量を誇る徳山ダムの試験湛水など全国的に報道されるニュースがありました。

町の重点プロジェクトとして、公共交通ネットワーク、地域情報ネットワーク、道路ネットワークの三つのネットワークの整備を進めております。公共交通ネットワークでは、皆さんがバスを気軽に利用していただけるよう平成十八年十月から「地帯制ワンコイン」運賃制度の町コミュニティバスを運行しております。地域情報ネットワーク整備は、地域間の情報格差を解消することや、全世帯の音声告知放送、いびがわチャンネルによるテレビ放送で町の情報を提供するため、光ファイバー網の整備を行い、平成十九年夏ごろから供用を開始します。また道路ネットワークとして国道303号八草バイパス、国道417号徳山バイパスが開通し、東海圏と近畿・北陸圏を結ぶ路線が改良されました。さらに長良松山トンネルの完成も間近になりました。

活力あるまちとなるよう、揖斐川町独自の小学六年生までの「医療費補助」、「すこやかベビー祝い金」、「地域包括支援センターの設置」などの少子化対策・福祉施策の拡充、奥郷町管住宅の整備などの定住化対策、谷汲統合小学校、揖斐小学校の整備などの教育の充実も進めてまいりました。

本年は、昨年策定した第一次総合計画や町民憲章を踏まえ、既存の資源の質を高め、地域資源を十分に活かすことで、「人と人」「地域と地域」のつながりをさらに深め、町民の皆さんから「住んでみたい」、「住んでよかった」と言っていただけのように「元気なまちづくり」を進めてまいります。今日の財政状況は引き続き厳しい状態ではありますが、皆さんがより豊かに暮らしていただけますよう、行政の無駄を極限まで減らし、最小限の経費で最大限の効果が得られるよう力を注いでまいります。どうか本年も、町政に対する相変わらぬご支援と、ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 新年のご挨拶

揖斐川町議会議長 清水政則

新年あけましておめでとーございます。平成十九年の年頭にあたり、町議会を代表いたしましたして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様方には、明るく希望に満ちた新年をご家族おそろいで清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨今、景気の回復を示すような明るい話題がさまざまな分野から聞かれるようになってまいりましたが、長引く景気低迷の影響は大きく、依然として厳しい経済情勢、財政状況の下にあります。

しかしながら、このような状況にありましても、町の重要施策である情報・交通・道路のそれぞれのネットワーク整備をはじめとして、揖斐川町の今後のまちづくりに欠かせない重要な課題が山積しております。

町議会としても、これらの課題解決に向けて皆様のご意見、ご要望を拝聴しながら、新しいまちづくりに反映できますよう二十六名の議員が一丸となって、決意を新たに皆様方の信頼と期待にこたえてまいりたいと存じますので、なお一層の温かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、町民の皆様にとって明るい年になりますよう議員一同心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

